



# 1年美術 形原のロープでリースをつくろう



クラフト作家の山下、山中さんからロープリースの作り方の説明を聞く1年生

9/11(月)、19(火)、25(月)の3日間、1年生の美術の授業に地元のクラフト作家(山下さん、山中さん)を講師にお招き、「形原のロープを使ったリース」をつくりました。厚紙を丸や四角など、自分の好きな形に切り抜き、穴を開けます。表側にボンドでロープを貼り付け、リースの土台をつくります。そこへ、貝殻や流木、ビーズやガラスなどで美しく装飾したら完成です。クラフト作家さんの作品を参考にしながら、生徒たちは思い思いにロープの色や装飾物を選び、楽しんで制作していました。最終日は、地域ボランティアの方が制作を手伝いに来てくださいました。

完成した作品は、10/28(土)、29(日)におこなわれる「くらふとフェア蒲郡2023」に展示します。全国から200人のクラフト作家さんが出店し、毎年2～3万人の来場者で賑わうイベントです。多くの方

に形原のロープの魅力を広められるといいですね。

当日は、展示の他、形中生がロープリースのワークショップのお手伝いをしたり、形中生の手作り「ロープ御守」や「ロープミサンガ」を販売したりします。

みなさん、是非足を運んでください。



① 土台にロープを貼る



② 飾り付ける貝や流木、ポタンやビーズなどを選ぶ



③ 爪楊枝やピンセットを使い飾り付ける



④ ロープリース完成





# 1年総合的な学習 地域の方から話を聞く会

1年生は、5月に地域のひと・もの・ことと触れ合うことを目的に「形原ウォークラリー」をおこないました。形原の良さに気づいた生徒たちは、**形原の町をもっと知りたい**という気持ちが芽生えました。そこで、9/28(木)に生徒たちが興味を持った地元のことについて、**関係者から話を聞く機会**をつくりました。形原の産業や自然、歴史や文化、観光や交通、まちづくりなどさまざまな分野で活躍している方を講師にお招きしました。



**【形原松平の話聞いて】 1年 A.H**  
 今までは、形原には全然いいところなくて、東京や京都の方がいいと思っていました。でも田中先生の話を知ると、形原にはこんないいところがあったんだとわかりました。あの有名な徳川家康が、形原に関わっていたなんて、思ってもいませんでした。

**【形原の祭りの話を聞いて】 1年 A.S**  
 エーン曳きや七福神は見たことがあったけど、詳しく知らなかったの、知ることができて良かったです。今まで祭りはずっと見る側だったけど、やる人が減ってきているので、これからは伝承していけるように、積極的にお祭りに参加していきたいと思いました。神社が平安時代からあることや、祭りをするきっかけにびっくりしました。

**【油菓子の話を聞いて】 1年 S.Y**  
 私はよく油菓子を食べるのですが、どんな風に出たのか、昔はどんな人が食べていたのかが気になっていました。今日そのことがよくわかりました。漁師の方が一斗缶に入れて油菓子を持って行くことにびっくりしました。また、油菓子を作りたいし、今日知ったことを家族に教えたいと思いました。

形原についての話を聞いた生徒たちの多くが、**知らなかった形原の良さに気づいたり、形原をもっとよくするために、自分はどうすればいいのかを考えたり**しました。この授業をきっかけに、自分たちが育った町を愛する心をより一層育んでほしいと思います。